



南部町

議会だより

No.45

平成26年
4月20日発行

<http://www.town.nanbu.yamanashi.jp/>



記録的な大雪の朝（内船上区）

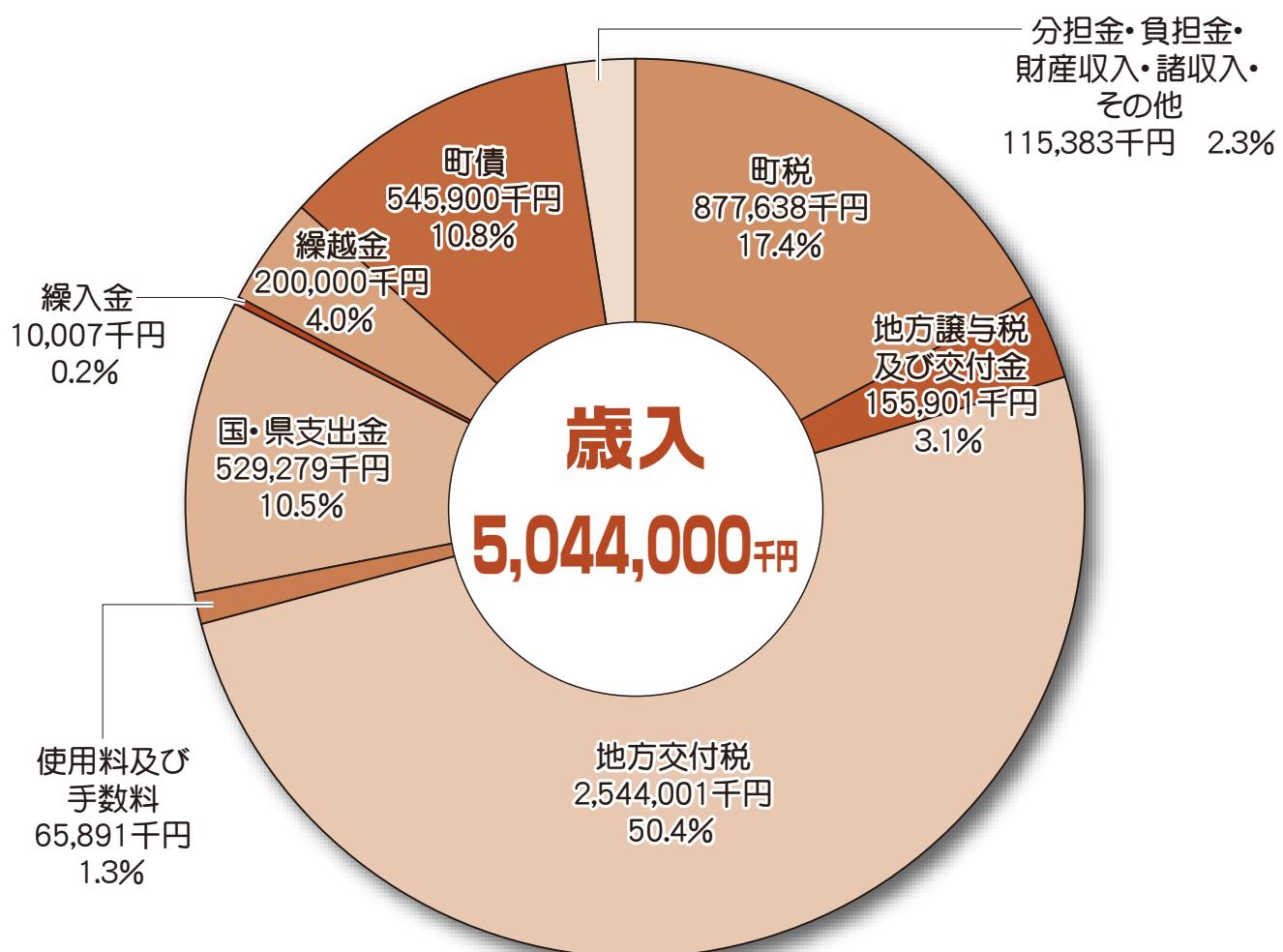
平成26年
3月定例会

- ◆ 平成26年度一般会計・特別会計当初予算 (P2~5)
- ◆ 平成25年度一般会計・特別会計補正予算 … (P6)
- ◆ 総括質疑 (P8~9)
- ◆ 総務建設常任委員会レポート (P10~11)
- ◆ 文教厚生常任委員会レポート (P12~13)
- ◆ 1議員が町政を問う (P14)

億4,400万円

1.6% 減

止1件、過疎地域自立促進計画の変更1件、発議1件、人事2件、25年度補正予算10件、ない現実があるなかで、歳入面では、26年度の国の財政計画によると、地方交付税は、対が、26年度は1億1,500万円が見込まれ、歳入は大変厳しい状況となっている。ない事を基本とした予算編成をしたとの説明があった。賛成全員で可決して、24日閉会した。



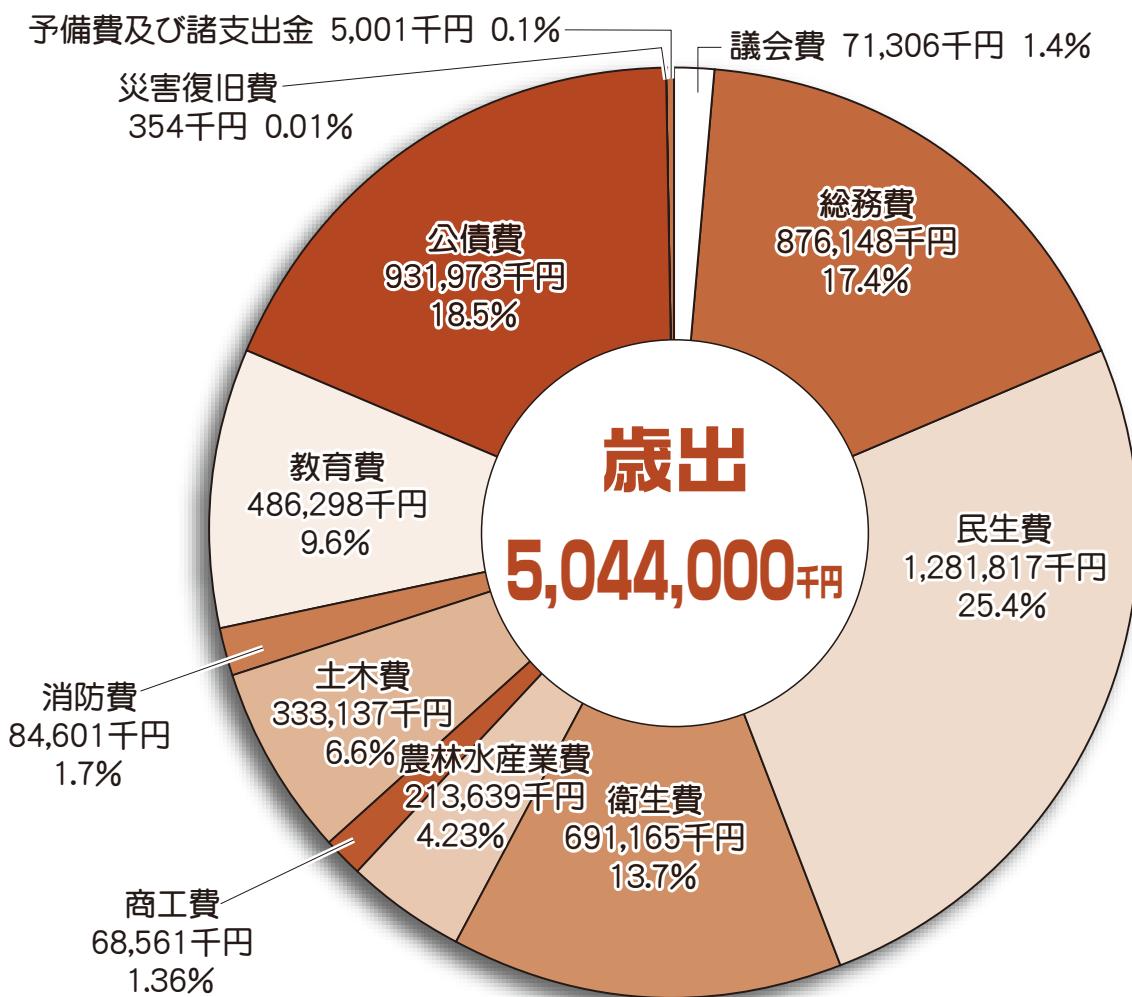
● 太陽光発電設備設置費（設計・工事費）	2,300万円
● 安心なまちづくり推進費（住宅耐震化等）	1,189万円
● 交流促進施設整備事業費（調査設計）	1,650万円
● 老人福祉費報償費（敬老・長寿祝金、介護慰労金）	2,363万円
● 臨時福祉給付金支給事業費	5,369万円
● 児童手当	9,425万円
● 子育て世帯臨時特例給付金給付事業費	925万円
● 健康検査・各種検診委託料	4,744万円
● ごみ処理委託料	6,777万円

当初予算50

前年度比

平成26年第1回定例会は、3月5日に開会し、条例の制定・改正13件、町道の路線廃止26年度一般会計予算及び特別会計予算9件の提出議案があった。

このうち、26年度一般会計予算については、予算の半分以上を地方交付税に頼らざるを得る前年度比1.8%の減額となっている。これと合せて普通交付税も、合併算定替による縮減額このような状況のなかで、歳出面では、最大限無駄を省くことと、住民サービスを低下させない以上の38件の提出議案について、総務建設、文教厚生、両常任委員会の審査を経て、



- 中山間地域総合整備事業負担金
- なんぶの湯・奥山温泉施設工事費
- 町道改良工事費
- 道路維持工事費
- 防火水槽標識取り替え
- 耐震性貯水槽設置・可搬式ポンプ購入
- 災害対策費（防災用品・備蓄品他）
- 教育支援センター費
- 地方債元金・利子償還金

4,350万円
1,459万円
1億2,784万円
5,000万円
1,080万円
2,649万円
1,613万円
214万円
9億2,947万円

26
年度

町民1人あたりのくらひに どう使われるか

当初予算

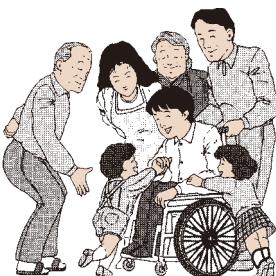
(3月1日 外国人登録者を含む現在人口 8,670人)



農林水産業費
24,641円



総務費
101,056円



社会福祉費
75,065円



老人福祉費
65歳以上 3,401人 111,170円



消防費
9,757円



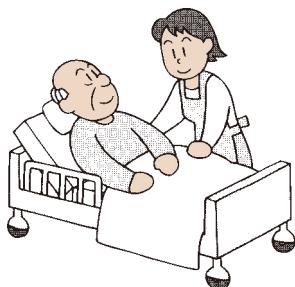
学校教育費
児童・生徒 535人 455,889円



児童福祉費
15歳以下 782人 357,675円



保健・環境衛生費
79,719円



老人医療費
75歳以上 1,843人 132,669円



町民医療費
146,831円



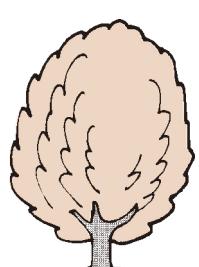
商工・観光費
7,907円



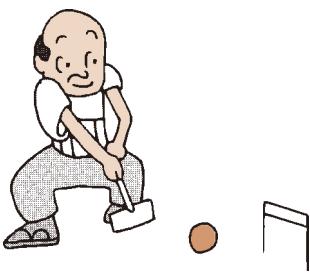
土木・災害復旧費
38,126円



水道費
48,602円



公債費
107,494円



社会教育費
20歳以上 7,515人 9,973円



公園・文化施設費
12,626円

(注) 公債費とは、借入金を返すための費用です。

平成26年度 特別会計

9会計の総額は31億8,008万6千円

前 年 度 比 12.4%の増

町民の健康と福祉の充実を図る

(単位:千円)

会 計 名	26 年 度	25 年 度	増 減	主 な 内 容
簡 易 水 道	421,384	342,542	78,842	営繕費 75,786 西部簡易水道改良費 122,958 公債費 187,628
指定居宅サービス	72,119	65,445	6,674	デイサービス送迎車 2,043 デイサービス等居宅サービス事業費 43,384 居宅介護支援事業費 13,316
国 民 健 康 保 険	事 業 勘 定	1,003,012	868,284	歳入 国民健康保険税 231,832 国庫支出金 243,260 前期高齢者交付金 218,027 繰入金 65,744 歳出 一般被保険者療養給付費 538,749 高額療養費 76,241 後期高齢者支援金 114,943
	直営南部診療施設勘定	178,969	170,413	歳入 診療収入 148,870 一般会計繰入金 23,298 歳出 一般管理費 68,347 医薬材料費・外科医等派遣負担金等医業費 105,509
	直営万沢診療施設勘定	91,044	80,238	歳入 診療収入 61,073 一般会計繰入金 22,656 歳出 一般管理費 35,555 医薬材料費等医業費 44,376
計	1,273,025	1,118,935	154,090	
介 護 保 険	1,167,390	1,041,468	125,922	居宅介護サービス給付費等介護サービス等諸費 977,340 介護予防サービス等諸費 49,850
後 期 高 齢 者 医 療	244,509	258,994	△ 14,485	療養給付費負担金 118,595 広域連合納付金 115,582
睦 合 財 产 区	333	324	9	除伐・草刈り賃金等管理費 314
富 沢 財 产 区	778	780	△ 2	管理費 340 山道整備委託料等造林費 437
大 城 平 外 二 山 恩賜林保護財産区	388	417	△ 29	除伐・草刈り賃金等管理費 242
大 日 向 外 三 山 恩賜林保護財産区	160	155	5	管理費 160
合 计	3,180,086	2,829,060	351,026	

(賛成・全員)

1億442万3千円を追加

主な歳入 主な歳出	地方交付金	積立	税金	2億638万4千円 1億8,108万7千円
--------------	-------	----	----	--------------------------

主な歳入補正は、地方交付金1億4,227万1千円、町債の減額2億2,900万円等です。
 主な歳出補正は、国保特別会計事業分繰出金3,000万円、大雪による重機借上料1,373万円、FM告知配線等修繕費598万8千円、基金積立金1億8,108万7千円、及び各科目執行状況による増減額等です。

一般会計

追加額(5会計) 減額(3会計)

1億72万3千円 3,025万4千円

(単位：千円)

会計名	補正額	予算総額	主な内容
簡易水道	△ 4,268	425,844	営繕費、井出簡易水道改良費の減額
指定居宅サービス	△ 2,860	69,017	居宅サービス、介護予防サービス計画事業費の減
国民健康保険	事業勘定	52,255	一般・退職被保険者療養給付費 共同事業拠出金 55,706 △ 6,888
	直営南部診療施設勘定	3,232	医薬材料費等
	直営万沢診療施設勘定	374	在宅酸素供給装置リース料
計	55,861	1,303,506	
介護保険	44,773	1,170,607	居宅・施設介護サービス給付費等
後期高齢者医療	△ 23,126	241,811	療養給付費負担金、広域連合納付金の減等
睦合財産区	20	344	予備費
大城平外二山恩賜林保護財産区	65	482	予備費
大日向外三山恩賜林保護財産区	4	159	管理費
合計	70,469	3,211,770	

(賛成・全員)

条例制定・改正

○南部町栄財産区議会設置条例の制定

とすることに伴い、一部を改正する必要が生じたため。
(賛成・全員)



入居が始まったグリーンハイツ富士見

○南部町副町長を置かないこととしたことに伴う、関係条例の整備に関する条例の制定と一部改正

(賛成・全員)

○南部町内船財産区議会設置条例の制定

内船財産区、栄財産区の議会設置条例は、合併時の暫定条例であるため、新町においても本条例を制定する必要が生じたため。
(賛成・全員)

○南部町職員給与条例の一部改正

平成25年山梨県人事委員会の勧告に鑑み、南部町職員給与の一部について所要の改正を行う必要が生じたため。
(賛成・全員)

○南部町の区長、組長設置等に関する条例の一部改正

平成25年山梨県人事委員会の勧告に鑑み、南部町職員給与の一部について所要の改正を行う必要が生じたため。
(賛成・全員)

○南部町議会の議決すべき事件に関する条例の制定

○南部町簡易水道給水条例の一部改正

○南部町行政財産使用料条例の一部改正

○南部町し尿処理場管理条例の一部改正

変更・廃止

過疎地域自立促進計画の中、南部の火祭り、たけのこまつり、あじさいまつりを補助事業に、奥山温泉、山水徳間の里を管理事業に、用途廃止の公共施設解体事業と、防災・災害対策事業の7項目を追加する。
(賛成・全員)

○南部町過疎地域自立促進計画の変更について

○南部町社会教育委員条例の一部改正

以上4項目については、いずれも消費税法の一部改正により、税率の引き上げが実施されるため。
(賛成・全員)

○南部町小規模水道給水条例の一部改正

○南部町簡易水道給水条例の一部改正

○南部町道路占用料徴収条例の一部改正

○南部町道路占用料徴収条例の一部改正

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るため、委員の選出範囲の一部改正を行う必要が生じたため。
(賛成・全員)

○南部町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

道路法等の一部改正する法律の施行に伴う、関係法令の整理に関する政令が施行されたので、条例の一部を改正する必要が生じたため。
(賛成・全員)



山水徳間の里

○町道の路線廃止

万沢地区の向神田線、延長297.4mが平成26年3月31日で廃止。
(賛成・全員)

総括質疑

副町長を置かないことに伴う条例の制定

問

現町長の就任より副町長不在となつて、行政執行の上で支障はないか。また、副町長の代行は誰が行つているか。

他町村の状況はどうなつているか。

総務課長 副町長不在の対応

は、特別職である教育長、総務課長、あるいは担当課長が行い、町政に支障のないよう対応している。県内14町村の状況は、4町村が副町長を置いている。6町村が条例により不在で、他の4町村は欠員の形で不在となっている。

町職員給与条例の一部改正

問 条例改正の経緯と、内容について説明を。

総務課長

地域の民間企業との給与格差の調査結果による、山梨県人事委員会の勧告に基づく減額改正で、町職員給与のうちの、期末手当を調整して減額するための条例改正です。

重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

問

今迄は、医療費窓口無料であつたが、改正後は、

一度支払いをして、後から自動還付するための条例改正とのことだが、これでは、低所得者が医療を受けにくくなる恐れはないか。医療費の貸付けなど、町として何らかの対応は考えられないか。

福祉保健課長

医療機関で支払いの後、個人口座への振り込みとなります。この間の手続きは不要ですが、3カ月位の遅れが発

子育て支援課長

園児数が当

問 保育料の確定額が増額補正となつて、園児数の増加か。

交通防災課長 安心な町づくり推進事業として、住宅の耐震改修補助を行つていてが、本年度の実施は1件のみで、耐震シェルターの設置はありませんでした。



被害を受けたビニールハウス



富河保育所

生します。低所得者への対応としては、県の医療費貸付け制度がありますが、この制度が必要な人数と、金額はどれ位かを調べ、お金が無くて、医療が受けられない人が出ないよう、対応を考えたいと思つています。

初見込みより12名増えて、124名となっています。未満児保育料も、延36人で5万3千円を計上しました。

制度開始以来、改修実績は上がっていないので、今後は県とも協力し、目標値を設定して、耐震化を進めたいと思います。

産業振興課長代理

J Aと合同で調査しているが、現時点ではハウスの倒壊等は、36件です。

問

2月の大雪での、町内のビニールハウス等の被害状況は。

26年度一般会計予算



国 の 地 方 財 政 計 画 に 基 づ
き、当 初 予 算 を 策 定 し た
と 思 う が、予 算 編 成 の 基
本 的 な考 見 方 を 聞 き た り。

財政課長

予 算 の 大 半 が 地 方
交 付 税 で あ る こ と か ら、こ
れ に 頼 ら ざ る を 得 な い 現 状
が あ る。

26 年 度 の 国 の 地 方 財 政 計
画 で は、地 方 交 付 税 は、昨
年 に 比 べ、1・8 % の 減 と
な っ て い る。

こ れ に 合 わ せ て 合 併 後 11
年 を 経 過 し た こ と か ら、26
年 度 の 交 付 税 の 縮 減 額 は、
約 1 億 1,500 万 円 程 度
と な る。

こ れ ら を 合 せ て 、地 方
交 付 税 は 約 2 億 5 千 万 円 位
が 歳 入 減 と な る た め、25 億
4,400 万 円 を 予 算 計 上
し た。

地 方 消 費 税 交 付 金 の 増 額
は あ る が、地 方 譲 与 税、各
種 交 付 金 等 は 前 年 度 実 繕 を
見 込 ん だ。

財政課長

増 稅 前 は 消 費 税 の
1 % が 県 と 町 に 配 分 さ れ、
そ の う ち の、0・5 % が 町

問

在 宅 医 療 支 援 セ ン タ ー 委
託 料 に つ い て 説 明 を。

限 活 用 す る 事 で 歳 入 を 見 込
ん だ。
歳 出 で は、無駄 を 省 き、
住 民 サ ー ビ ス を 低 下 さ せ な い
事 を 基 本 に 予 算 編 成 を し た。

問

町 民 税 は 減 額 で、法 人 税
は 増 額 見 込み と な っ て い
る が 内 容 は、ま た、國 の
經 濟 対 策 効 果 が 出 始 め た
と 考 え て よ い か。

税務課長

町 民 税 は、就 業 者
の 減 少 等、依 然 と し て 厳 し
い 財 政 環 境 か ら、前 年 に 比
べ、約 1,970 万 円 の 減
収 を 見 込 ん だ。

法 人 税 は、景 気 回 復 の 傾
向 が 見 ら れ る た め 増 収 を 見
込 ん だ。

經 濟 対 策 効 果 の 実 感 は 無
く、地 方 連 効 果 が 波 及 す
事 を 計 て し て いる。

ま た、縣 と 町 の 配 分 は ど
う な る か。

に 配 分 さ れ て い る。

増 稅 後 は、1・7 % が 県
と 町 に 配 分 さ れ、0・85 %
が 町 に 配 分 と な り ます。

問

公 債 残 高 は、合 併 直 後 は、
1 0 0 億 円 近 く あ つ た が、
年 每 に 減 少 し、26 年 度 末
の 見 込み が、57 億 4 千 万
円 と な っ て い る が、町 債
の 内 容 に つ い て 説 明 を。

財政課長

主 な 町 債 は 過 疎 債・
合 併 特 例 債・臨 時 財 政 対 策
債 の 3 つ で、全 体 の 90 % 以
上 を 占 め て い る。

こ の う ち 過 疎 債 と 合 併 特
例 債 は、元 利 償 還 金 の 70 %
が 交 付 税 措 置 さ れ る 有 利 な
町 債 で す。

臨 時 財 政 対 策 債 は、借 入
の 有 無 に か か わ ら ず、発 行
可 能 の 全 額 が 交 付 税 措 置 さ
れ る。現 在 は 繰 上 げ 償 返
や、借 入 い れ 見 送 り の 努 力
に よ り、交 付 税 措 置 額 が 実
際 の 残 高 を 上 回 る 良 い 状 態
と な っ て い ま す。

福祉保健課長

25 年 度 ま で は
飯 富 病 院 に あ る 支 援 セ ン タ ー
を 県 で 運 営 し て 来 た が、26
年 度 か ら は 県 が 2 分 の 1 を
補 助 し、残 り を 島 南 5 町 で
分 担 し 運 営 す る こ と に な っ た。

26 年 度 は 南 部 町 が 当 番 町
とな っ た た め、分 担 金 35 万
円 と 合 せ て、450 万 円 を
同 セ ン タ ー の 運 営 費 と し て
計 上 し た。



在宅医療支援センター（飯富病院）

委員会レポート

各委員会に付託された議案を、
3月10日・11日に慎重審議した。

総務建設常任委員会

結んでいくことを考えていま
す。

問 過疎債をソフト事業に充
当できるようになつたが、
これは継続していくのか。

上設置が容易であることか
ら採択されたので、平成26
年度に計画を進めたいと思
います。

答 平成22年度にソフト事業
に対する起債が可能となり、
平成24年度からは財政力の
低い自治体に対しては、限
度額を超えた起債も可能と
なりました。

平成26年度は起債できる
上限額を予算計上し、過疎
対策事業としての各種ソフ
ト事業を計画しています。
現行過疎法は、平成32年度
までの時限立法です。

問 先月の降雪・積雪時の対
応として、建設業協会及び
大型重機所有者との
災害協定は結ば
れていた
ります。

現時点では結ば
れていた
りません。平
成26年度中に協定
を結びた
いと考え
ており大
型重機所
有者（砂
利組合）
等、今後
災害時対
応協定を

答 災害対策費の需用費中、
消耗品費の97万2千円で3
千枚を計上し、「黄色いハ
ンカチ」

問 黄色いハンカチを全町的
に広めることだが進め
方と予算について説明を。

「ンカチ作戦」災害時に無事
のひとつで、地域での安否
確認が容易になり、救助活
動の効率化が図られ、平成
26年度の防災訓練では、取
り入れていきたい。

答 10分の10の補助事業で市
町村の公共施設に太陽光発
電設備を設置する事業に対
するもので、この補助金の
強度的にも問題がなく、屋
外域の避難地となる可能性
のある活性化センターが、

問 再生可能エネルギー等導
入推進基金事業補助金2,
160万円の内容は。

答 現時点では結ば
れていた
りません。平
成26年度中に協定
を結びた
いと考え
ており大
型重機所
有者（砂
利組合）
等、今後
災害時対
応協定を



重機による除雪作業

問 個人町民税が大きく減額
となつてているが、説明を。

答 分と経済対策分の減額によ
るものと考えられます。が、
7月になれば普通交付税が
確定されきますので、そ
の時に原因等が分かると思
います。

問 地方交付税の決定時期と、
合併後10年を経過し年々減
額となることについて説
明を。

答 合併10年が過ぎ平成25年
から算定替えによる縮減が
始まり、縮減額は25年度が
約4,700万円26年度は
1億1,500万円が見込
まれ、県の試算では平成25
年度確定交付額と比較する
と2億5,000万円ほど
減る見込みです。

答

就業者数の減少や依然として厳しい雇用環境・所得

環境による個人所得の減少により、所得割は2,134万円の減額を見込みました。

均等割は東日本大震災を

教訓として町が実施する防

災のための財源確保のため、臨時の処置として平成26年

度から35年度までの10年間個人住民税均等割の税率が年間千円（町民税500円、県民税500円）引き上げられ、195万5千円の増額を見込んでいます。

期限を平成29年度として事業を行つていますが、今年度は宿を除いた元宿区を対象に調査を行い、進捗率は



地籍調査実施状況

86.64%です。

平成26年度では横沢から宿の一部までの調査を行い、平成27年度では宿及び平山の一部から沢上・大城まで、

平成28年度から29年度で陵草地区の計画をしていきます。

問

農業振興費負担金、補助及び交付金の地域特産物奨励補助金37万円の内容は。

答

現在、筍部会、野菜部会、栗部会、合鴨部会、キウイ部会、生姜部会の7部会に総額37万円を補助するものです。

問

農業振興費負担金、補助金の120万円の内容は。

答

茶畠管理を受託事業として農協作業員に委託し、その経費の赤字分50%を町と農協で補填、その補填の上限額120万円であります。

しかし、高齢化等も伴い本来の茶管理事業の内容が変化し、受託事業を圧迫しており、補助金の増額を要望されている状況で、茶管理のオペレーターが不足し、対策を考える必要があると思います。

問

森林の雪害対応をどう考えるのか。

答

県道や民有林などで、雪によるかなりの倒木等の被害が発生しております。

治山対策等、県でも視察等行う予定ですので、町と

して支援等についてお願ひます。道路維持費使用料及び賃借料の重機借上料1,373万円の内容と大雪時の除雪対応は。

したいと考えています。

問

2月の2回の大雪に係る重機借上料で、8日～9日の積雪に係る除雪に要した重機は5日間で86台、14日～15日の除雪に要した重機は9日間で155台であります。この台数を基準に借上料等を補正しました。

今回の除雪対策ですが、事前に各地域、路線ごとに除雪を行う業者の配置は決めてあります。これに基づき除雪作業を実施しています。

なお、作業の手順は、県道の除雪後に町道の除雪に着手しております。今回の大雪での除雪作業の検証を行い、関係機関と協議していきたい。

います

答

今回の大雪で、告知放送が断線等により使用できなくなり、情報不足により住民に不安等が生じたということも聞くが、今後の対応は

規路線で御屋敷上線と越度御屋敷線の2路線で、計4路線の改良工事を実施するものです。

問

今回の大雪で、幹線切断、引込線の破損、切斷等に伴い長時間の停電から、バッテリーアップ電源の電池切れが起り、告知放送が聞こえなくなつたため、情報が入らず町民に不安等を生じさせてしまったと思います。

今後への教訓として告知放送が出来なくなつた場合の、町民への周知方法について関係課と協議し、その対策を考えていきたいと思

います

と境川梅島線の2路線、新規路線で御屋敷上線と越度御屋敷線の2路線で、計4路線の改良工事を実施する



文教厚生常任委員会

問 国保特別会計への繰出金3千万円について説明を。

答 12月議会の際に、総額で

8千万円の財源不足が見込まれたため、12月時点でその内の5千万円を補正し、医療費の状況を見ながら不足であれば3月にその分をお願いしました。医療費の増加が続き、年度終了まで支払ができないという状態にならないよう、今回3千円を追加するものです。

問 南部診療関係で、外来収入が減額となっているが、歳出医療費の医薬材料は増額補正となつてある説明を。

答 医薬材料費が増えていたため、診療報酬の内訳を前年度と比較したところ、患者数と診察料が減って、投薬料がかなり増えています。これは長期処方等により医薬材料費だけが伸びていると推測しています。

問 国保会計の今後の見通しについて、どう考えているか。

答 26年度については歳入が前年度当初より1億3,472万円ほど増えており、歳出でも前年度並みで見込める状況です。税率改正も

行い、一般の医療費で5%程度の上昇率を見込める予算になつていて、収支が打てるものと思っています。27年度以降については、国の制度改正により医療費が上る要素が何点かあります。が、低所得者の負担軽減のための国庫補助金等が見込まれるため、それを注視しながら税率改定も視野に入れ、運営協議会で協議して進めていきたいと思います。

問 子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金924万6千円について説明を。

答 26年4月からの消費税の

引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和し消費の下支えを図る観点から、臨時の給付措置として行われるもので。26年1月時点で1月分の児童手当の受給者で25年の所得が所得制限に満たない方が支給対象で、850人を見込んで支給額は対象児童1名につき1万円で、全額国庫負担です。

問 グリーンハイツ富士見の建設による万沢保育所の児童増加の予定はあるか。

答 1家族で年中児・年長児の2名が入所予定です。

問 淨化槽設置整備事業費補助金の減額理由と、現在の浄化槽普及率について。

答 当初51基を予定しましたが42基となつたためです。普及率は、今年度の42基も含めて約40%で、設置累計数は1,360基です。

問 可燃ごみの搬入量の推移と、生ごみ処理設備に対する補助について考えは。

答 昨年10月までは増える傾向でした。広報による呼びかけ等で、現在は年間重量として見るとあまり変わっていません。ただプラスチックや紙の混入は増えているように思いますので、分別について今後もアピールしていきたいと思います。今年度、リサイクルできる衣類等の回収ボックスを3ヶ



家庭で出来る生ゴミ処理

所設置したことで、可燃ごみの減量に一層努めています。生ごみ処理機の補助については、電気的処理によるもの3件・コンポスト2件の申請がありました。女性団体が推奨している設備については、コンポストと同等の補助を検討し反映しています。

問 水道水質検査委託料 1,88万5千円の内容は。

答 町内15ヶ所の水源の水質検査を毎月実施するための委託料です。検査項目は多いときは51項目検査します。



問 現在の介護認定者数は。

答 26年1月末現在で、要支援1が49人、要支援2が72人、要介護1が122人、要介護2が108人、要介護3が77人、要介護4が77人、要介護5が88人で合計

593人で、昨年より25人増です。

問 スポーツセンター利用者数の実績は。

答 スポーツセンター利用者は、各種教室への参加者会員、各スポーツ団体が主となります。利用者数は、



スポーツセンター（温水プール）

24年度は2万8,827人であり、ここ数年の利用者数は横ばいです。

問 教育支援センター費の内容は。

答 本事業は学校になじめない、人間関係が築けない、学力不振などの問題を抱え

た児童・生徒を支援するため、26年度に実施する新規事業です。青少年の教育相談、不登校対策、学力向上、特色ある南部町教育を基本目標に掲げ、教育支援活動を行います。学校になじめない児童・生徒を対象にした適応教室については、常時2名の教員OBを配置し

支援します。また、月1回小学校5・6年生、中学生を対象に実力支援教室開催時にも教員OBを配置する予定です。

て説明を。

答 委員会は議会、区長会、各種団体等から委員を委嘱します。検討委員会の経費として、16人分の委員謝礼11万2千円を計上しました。

問 学区の規定について説明を。

答 学区については、学校教育法施行令が改正され市町村の教育委員会の判断で保護者が学校選択制を導入できることになりました。完

問 万沢小学校の臨時職員賃金811万5千円の内容は。また、教職員数及び児童数は。

答 万沢小学校の複式学級解消のため配置する町単独教諭2名分の賃金です。教職員数は教員9名、事務職1名、用務員1名です。26年4月の児童数の見込みは27人で、その内入学者は2人です。

問 26年度設置予定の小学校

本町の場合、小学校の学区は、通学距離が徒步で4km以内を基本に、地形が西行峠、大和峠、富士川で隔てられていることから、旧村を学区として学校選択制を導入していません。

一般質問

ここが聞きたい!!

1議員が問う

問 観測史上初といわれる今回の記録的な大雪は、町民生活に大きな課題を残した。特に14日の大雪は雪も重く、町の半数の家が、2ヶ月間停電となり、断水・電話・車も通れなく、孤立してしまった。

危険個所の把握、県外との通電システム、救助要請の仕方、防災計画の検証も必要だ。



なべた みきお
鍋田幹雄 議員

町長 災害時の自助・共助・公助の必要性、重要性を強く認識し、自治体の対策として不備な点、検証すべき点、改善点を踏まえ今後の教訓としたいと考えている。今回の大雪は歴史的豪雪ともいえ、県内に大きな爪あとを残した。大雪警報発令とともに、本町の地域防災計画による職員第一配備体制を指示し、適切かつ迅速な対応など、さまざまな角度から対応策を考え、14日には職員第2配備体制を指

町民の命を守り、安心・安全な生活を、一日も早く復旧させることを望んでいる。被害状況を調査中だと思うが、国や県の補助や支援も出てきている。規模や基準にとらわれることなく、商工・農林被害の復旧再生を願いたい。

この大雪に対する各課の対応は、後日小冊子でお伝えするが、本町は豪雪地帯と比べ雪害に対する対策基盤は脆弱で、町民生活に及ぼす影響は大



万沢下宿地区

示し、各課の対応のあり方、雪害対策の打ち合わせを行い、15日には、職員調査班を編成し、町内被害状況調査を実施、停電の復旧あたり、何とか復旧を急ぎたまうという思いから、自衛隊に直接電話し、自衛隊へりを要請した。

またFM告知放送の周知に即した形で見直しを行いたい。またFM告知放送の周知が不能になることを想定し、その対策も検討していく。

問 雪害対策をどうするか

あらゆる対策を検討する。

示し、各課の対応のあり方、雪害対策の打ち合わせを行

い、15日には、職員調査班を編成し、町内被害状況調査を実施、停電の復旧あたり、何とか復旧を急ぎたまうとい

ういう思いから、自衛隊に直接電話し、自衛隊へりを要請した。

現地視察報告

視察日
平成26年3月6日(木)

視察箇所

○本郷区若宮。100m³級耐震性貯水槽設置工事。

設置予定地の確認と、工法・付帯工事の説明を受けた。

○本郷区西川。農業用排水路（中山間事業）設置工事。工事予定地を視察し、測量設計と工事概要の説明を受けた。

○本郷区。月見橋橋梁補修設計
○本郷区。月見橋橋梁補修設計
○内船上区。町道宇上西線改良測量設計。
延長100m・幅5mの現地確認と、工事概要の説明を受けた。

○内船中区。町道櫻田線改良

測量設計。
延長100m・幅5mの現地確認と、工事概要の説明を受けた。

○臥月区西根熊。急傾斜地崩壊対策事業（県事業）
現地確認と、予定工事の説明を受けた。

○中央区町屋。急傾斜地崩壊対策事業（県事業）
現地確認と、予定工事の説明を受けた。

○富士見区御屋敷。町道越渡御屋敷線改良工事。

延長100m・幅5mの現地確認と、工事概要の説明を受けた。

○陵草区境川。町道境川梅島線改良工事。

延長100m・幅5mの工事進捗状況の確認と、工事概要の説明を受けた。

○雪害被害状況の視察。

2月の降雪被害について主として万沢地内を視察し、山林の倒木、折木・竹林・河川の崩壊状況等を中心に行つた。

務所担当者にも、現地の状況の確認を依頼した。
議会からも議員10名と、産業振興課及び建設課担当者が同行した。2度にわたる大雪の被害による倒木の状況、竹林の状況、崩落個所の状況等の確認を行い、合せて倒木の処理や河川の2次災害の防止や治山、治水対策等についても、今後の対応を県に対して要請を行つた。

人
事

○人権擁護委員の推薦

次の方に同意した。

南部町福士2700番地4
佐野六夫（再任）

○教育委員会委員の任命



○教育委員会委員の任命

次の方に同意した。

南部町福士21152番地4
若林正昭（新任）



林務環境事
県及び岐南



山林被害視察

山梨県後期高齢者医療広域連合議会報

峡南広域行政組合議会報告

- 平成26年第1回定例会は、
2月21日に開会され、
○条例の改正2件
(1)後期高齢者医療に関する
条例の一部改正
(2)後期高齢者医療制度臨時
特別基金条例の一部改正
○25年度後期高齢者医療特別
会計補正予算(第2号)
補正額は、歳入歳出1,
443万1千円を増額し9
45億6,075万8千円
とする。
- 26年度一般会計予算
予算額は、歳入歳出4億
6,770万7千円と定める。
- 26年度後期高齢者医療特別
会計予算
予算額は、歳入歳出94
0億7,625万2千円と
定める。
- 以上の5件を、原案どおり
可決し同日閉会した。

- 平成26年第1回定例会は、
3月26日に開会され、以下の
案件を原案どおり可決し、同
日閉会した。
- 専決処分
条例の制定・改正
(第5号)
160万円を追加。主な使
いみちは、職員手当と備品の
購入費です。
- 25年度一般会計補正予算
(第5号)
○障害程度区分認定審査委員
の定数を定める条例の一部
改正。
○障害程度区分認定審査委員
の定数を定める条例の一部
改正。
- 障害程度区分認定審査委員
員の報酬及び費用弁償に関
する条例の一部改正。
- 両改正は、認定に係る名称
の改定と、委員定数の増改定
で、このうち、南部
町の組合費負担金は、
3億829万7千円
です。
- 26年度一般会計予算
総額は、18億9,195万
円です。対前年度比
24.3%の増額予算
- 主な歳出は、消防
費12億6,205万
1千円・総務費4億
7,621万6千円・
民生費1億2,52
4万1千円・公債費
2,622万5千円等
です。
- 26年度介護保険特
別会計予算
総額は、2億2,
896万4千円で、
対前年度比、1.
- ふるさと市町村圏特別会計
補正予算(第3号)
補正額は、330万4千円
を追加。財産運用収入の増
基に積み立てします。
- 峡南広域行政組合資金積立
て基金条例の制定。
計算センター及び慈生園で、
将来多額の資金が必要となつ
た場合の、財源確保のための
基金条例の制定
- 消防長及び、消防署長の資
格を定める条例の制定。
政令により、資格の基準を
定める必要が発生したための
条例制定。

例の一部改正。
消費税引き上げとともになう
申請手続き等の手数料の改正
申請手手続き等の手数料の改正

費の節減分を、基金に積み立
てします。

○ふるさと市町村圏特別会計
補正予算(第3号)
補正額は、330万4千円
を追加。財産運用収入の増
基に積み立てします。

○26年度ふるさと市町村圏特
別会計予算
総額は、2,423万3千
円で、対前年度比、6.7%
の減額予算です。

主な歳出は、一般管理費・
創発的な事業費づくり事業費・
教育文化圏づくり事業費等
です。

○26年度介護保険特
別会計予算
総額は、2,423万3千
円で、対前年度比、6.7%
の減額予算です。

主な歳出は、施設入所運営
費・通所介護運営費等です。
○26年度ふるさと市町村圏特
別会計予算
総額は、2,423万3千
円で、対前年度比、6.7%
の減額予算です。

9%の減額予算です。

主な歳出は、施設入所運営
費・通所介護運営費等です。



介護等認定審査会

議員視察研修報告

- 研修日 平成26年2月3日～4日
- 研修場所 静岡県榛原郡川根本町 特産品販売施設「四季の里」
- 静岡県御前崎市佐倉 中部電力「浜岡原子力館」
- 四季の里 前身は、農協婦人部による週一度の朝市で、年数が経つうち、自分達の店がほしいという思いから空き店舗を借り受け、10人が資金を出し合いお試し期間として2ヶ月ほど店を出してみることにした。失敗なら、また元の朝市に戻ればいいと、安易の考えでした。



四季の里

- 浜岡原子力館 浜岡原発は、本町から70km余りに位置し、万一事故が発生すれば福島原発の様に放射能汚染にさらされ、2度と住めない状態になってしまいます。現在再稼働への動きに向け安全対策等により工事が行

誰一人経験者がいないなか、最初にしなければならない行政方面への手続き等は後手になり、発起人の藤森さんが奔走し、「有限会社ふれあい」として法人化。創設から28年が経ち、当初からのメンバーもほとんど引退し、平成23年

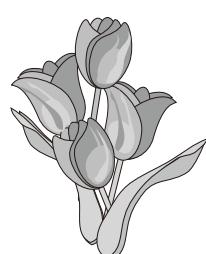
性だけのグループで始め、切磋琢磨し、数々の商品を手掛け、中でも大ヒット商品に「よもぎパン」がある。よく売れて評判になり、そこで包装に「元祖」の文字を入れることにした。材料は地元の物を買い入れ冷凍保存する。出荷者はそれぞれが値段をつけ、売上の2割を手数料としてもらう。ここ数年はバブル期と違ひ待っているだけではダメなので、以前利用してくれた人たちが高齢となつたこともあり、高齢者世帯を中心に、電話注文を受けて配達も行っている。今後も互いに協力していくことが大事とのことでした。

5月より嶋社長が就任し現在17名で運営している。当初は補助も受けずに自分達で、女性だけのグループで始め、切磋琢磨し、数々の商品を手掛け、中でも大ヒット商品に「よもぎパン」がある。よく売れて評判になり、そこで包装に「元祖」の文字を入れることにした。材料は地元の物を買い入れ冷凍保存する。出荷者はそれぞれが値段をつけ、売上の2割を手数料としてもらう。ここ数年はバブル期と違ひ待っているだけではダメなので、以前利用してくれた人たちが高齢となつたこともあり、高齢者世帯を中心に、電話注文を受けて配達も行っている。今後も互いに協力していくことが大事とのことでした。

議会の動き

1月	
26日(日)	第11回南部町駅伝・マラソン大会
27日(月)	山梨県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
28日(火)	町村議会新任議員研修会
30日(木)	峡南広域行政組合議会議員研修(31日まで)
2月	
3日(月)	総務建設常任委員会文教厚生常任委員会合同視察研修(4日まで)
10日(月)	南部町事業説明会
20日(木)	例月出納検査、町営バス運営協議会
21日(金)	南部町森林組合第45回総代会
23日(日)	生涯学習フェスティバル
25日(火)	山梨県後期高齢者医療広域連合議会第1回定期例会
26日(水)	町村議会議長会議、国保運営協議会
27日(木)	議会運営委員会
3月	
1日(土)	母子寡婦福祉会定期総会
2日(日)	南部町交歓少年野球大会
4日(火)	グリーンハイツ富士見竣工式
5日(水)	第1回定例会1日目
6日(木)	第1回定例会2日目
(現地視察)	
4月	
4日(金)	各小学校入学式、交通安全黄色い羽配布
7日(月)	第3回広報編集委員会、中学校入学式
11日(金)	県広報編集委員長会議
14日(月)	第4回広報編集委員会、監査委員協議会理事会
18日(金)	第5回広報編集委員会
5月	
24日(月)	身体障害者福祉会総会
25日(火)	各小学校卒業式、老人クラブ例月出納検査
26日(水)	峡南広域議会第1回定期例会
27日(木)	愛育会定期総会
28日(金)	第2回広報編集委員会

○議会傍聴のこ案内	
次回の定例会は6月です。	議場入口で受付を済ませばだれでも傍聴できます。詳細は議会事務局へお問い合わせください。
(現地視察)	



14日(金)・身体障害者福祉会総会
20日(木)・各小学校卒業式、老人クラブ
24日(月)・第1回定期例会最終日
25日(火)・例月出納検査
26日(水)・峡南広域議会第1回定期例会
27日(木)・愛育会定期総会
28日(金)・第2回広報編集委員会

町民の広場

万沢に住んで

遠藤 真紀
(新宿区松山)

長女が小学校へ入学するのを機会に、大和の県営住宅から万沢へ引っ越しました。ちょうど富沢町と南部町が合併する年でもありました。万沢は暖かい所だと思っていましたが、2月に降った大雪にはたいへん驚きました。

車庫の前や玄関先、そして一人暮らしのおじいさんやおばあさんの家の前の雪かきをしました。体力がいることなので、少しでも手助けができるたらよいと思いました。

それから、万沢では7月に祇園祭が行われます。祇園太鼓やおみこし、稚児の舞など子どもたちが活躍します。

年々少子化が進む中、おみこしをかつぐのが、人手不足になつてきています。私たちの地区でも、保護者の協力が必要になつてきました。

稚児の舞は、毎年四年生の女の子が舞うことになつています。しかし、今年度は女の子がないため、5年生が2年続けて出ることになりました。指導していただく先生からは、立ち居振る舞いや、みんなで合わせることなど、ていねいにおしえてもらいました。

宵祭りでは、大勢の人たちの前で、練習した成果を披露することができます。

翌日の御神幸行列は、数台の車に分乗して、各公民館を順番にまわります。それぞれの地区の人たちに、稚児の舞を見てもらいます。9ヶ所もあつてたいへんですが、全て終わつた後には、緊張がほぐれていつもの笑顔にもどっていました。何か大きな仕事をやりとげたようにも見えました。

また、今年3月にはグリーンハイツ富士見が完成しました。町外から入居してくる若者が子育てをして、地域の活性化につなげるという願いが込められているからだそうです。

これからもこのよな事業を進めてもらい、少子化の歯止めになることを期待しています。

地域の交流

渡辺 阿也
(中野区1組)

私が中野へ嫁いできた22年前は、区民が交流する機会がたくさんありました。ママさんバレー、ソフト、組対抗バレーボール、区民運動会、三世代交流会などです。子供が成長すると読書会、育成会など苦手意識をもつて参加したものもありました。しかし中野のはずれの自宅からの外出は車を利用していましたが、中野区の人達との交流は、煩わしさには代えられない知識や知恵や地域への愛情が得られるのではないかと22年たつた今感じています。



先日も家での会話で「今年は小学校へ入学する子がいるの？」と聞かれましたが答えはわかりませんでした。我が家家の子供達も大きくなり、3番目の二男があと2年で育成会を終わります。子供の成長と共にますます地域交流が減ってしまうように思います。

都会のようく交流がない事が楽だと思う世代の人もいるかもしれません、小さな町の小さな区の世代の違う区民との交流は、煩わしさには代えられない知識や知恵や地域への愛情が得られるのではないかと22年たつた今感じています。

（広報編集委員会委員）
委員長 簡持 雅 副委員長 森田 守
内田大明 望月藤一
仲亀佳定 遠藤光宣

編 集 後 記

▼ 「議会だより」はご周知のとおり、年4回発行しております。3月議会には新年度予算、9月議会には前年度決算が含まれるのでどうしても盛り沢山となり、ページ数が増えてします。議会広報編集委員会では、できる限りペーパー数を減らしながら、内容を充実させ、読みやすく見やすい工夫をこらした編集を常に努めています。詳しく知るには、議会傍聴が一番だと思いますので、是非一度議場に足を運んでくださることを期待しております。「議会だより」に携わる委員長をふくめ6人による手作りの編集、レイアウト等必死に取り組んでおりますので、是非、多くの町民に拝読されることを願っております。